

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所 東
 コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)志藤 健
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員財務部長 (氏名)佐草 彰 (TEL)045(543)6802
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	42,848	3.2	1,278	17.5	1,748	—	1,164	—
29年3月期第1四半期	41,519	0.4	1,087	△34.5	△390	—	△863	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 843百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △5,844百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	49.00	48.29
29年3月期第1四半期	△34.85	—

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	168,032	93,651	46.6
29年3月期	167,171	93,759	46.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 78,374百万円 29年3月期 78,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	40.00	58.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		18.00	—	19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,000	△1.4	1,600	△36.7	1,900	316.3	1,000	—	42.07
通期	166,000	△1.0	4,100	△35.2	4,400	△29.8	2,500	△37.2	105.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	25,055,636株	29年3月期	25,055,636株
30年3月期1Q	1,285,877株	29年3月期	1,285,877株
30年3月期1Q	23,769,759株	29年3月期1Q	24,769,759株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおりアナリスト・株主向け工場見学会を開催する予定です。

・平成29年8月25日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け工場見学会
開催場所(株)ヨロズ栃木

・平成29年10月31日(火)・・・株主向け工場見学会
開催場所(株)ヨロズ栃木

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国新政権の政策運営動向や欧州の政治情勢への懸念などがありましたが、米国では景気拡大が持続し、中国及び新興国では景気に持ち直しの動きが見られました。

一方、日本経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続しており、緩やかな回復基調となりました。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、生産の状況は、北米では好調が続いておりますが、その他地域ではほぼ横ばいとなっております。国内市場では、新車販売の増加などにより、好調に推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループは中期経営計画「Yorozu Spiral-up Plan 2017」の最終年度として計画に掲げた諸施策を継続実施しているところであります。

当第1四半期の売上高は、前年同期比3.2%増の42,848百万円となりました。利益面では、日本や中国での部品売上の増加などにより、営業利益は前年同期比17.5%増の1,278百万円、経常利益は前年同期の為替差損が当第1四半期では為替差益に転じたことなどにより、前年同期に比べ2,138百万円増の1,748百万円、これに伴い親会社株主に帰属する四半期純利益も、前年同期に比べ2,027百万円増の1,164百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、113.60円/ドル（前第1四半期連結累計期間115.32円/ドル）であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

金型・設備売上の増加に加え、主要得意先の新車効果による部品売上の増加などにより、売上高は前年同期比29.2%増の14,101百万円、営業利益は部品売上の増加などにより、前年同期比55.7%増の1,328百万円となりました。

②米州

メキシコ、ブラジルでの生産の増加があるものの、米国での生産の減少や円高の影響などにより、売上高は前年同期比4.9%減の20,620百万円となりました。損益面では、米国での労働市場の逼迫に伴う離職者の増加とそれに伴う生産性の低下は改善されつつありますが、2017年1月より稼働を開始したヨロズオートモーティブアラバマ社（YAA）の立上時コストの影響などにより、前年同期に比べ158百万円減の710百万円の営業損失となりました。

③アジア

タイ、インドネシアでの生産の減少や円高の影響があったものの、中国での生産の増加などにより、売上高は前年同期比4.9%増の12,774百万円となりました。営業利益はタイの生産の減少の影響などにより、前年同期比9.1%減の660百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,724百万円減少の70,294百万円となりました。これは、「現金及び預金」が1,910百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ2,585百万円増加の97,738百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「機械装置及び運搬具」が1,224百万円、「その他」に含まれる建物及び構築物が1,094百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ861百万円増加の168,032百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,111百万円増加の56,779百万円となりました。これは、「電子記録債務」が2,379百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が1,750百万円減少したものの、「短期借入金」が5,419百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ143百万円減少の17,601百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ968百万円増加の74,380百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ107百万円減少の93,651百万円となりました。これは、「株主資本」のうち「利益剰余金」が213百万円増加し、「その他の包括利益累計額合計」のうち「その他有価証券評価差額金」が408百万円増加したものの、「為替換算調整勘定」が700百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しは、平成29年5月11日公表のとおりで、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,197	23,287
受取手形及び売掛金	19,810	20,872
電子記録債権	2,112	1,907
製品	4,296	3,896
原材料及び貯蔵品	787	796
部分品	3,006	2,805
仕掛品	7,663	7,807
その他	9,152	8,930
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	72,018	70,294
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	38,117	39,341
建設仮勘定	24,087	24,470
その他(純額)	19,396	20,046
有形固定資産合計	81,601	83,858
無形固定資産	693	621
投資その他の資産	12,857	13,259
固定資産合計	95,152	97,738
資産合計	167,171	168,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,429	16,360
電子記録債務	7,660	5,280
短期借入金	13,428	18,848
1年内返済予定の長期借入金	8,000	6,250
未払法人税等	1,449	736
賞与引当金	1,257	1,862
役員賞与引当金	74	109
その他	7,368	7,331
流動負債合計	55,667	56,779
固定負債		
長期借入金	14,294	14,294
退職給付に係る負債	1,534	1,441
その他	1,916	1,865
固定負債合計	17,744	17,601
負債合計	73,412	74,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	10,231	10,174
利益剰余金	66,975	67,189
自己株式	△1,836	△1,836
株主資本合計	81,570	81,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,758	4,166
為替換算調整勘定	△6,361	△7,062
退職給付に係る調整累計額	△521	△458
その他の包括利益累計額合計	△3,124	△3,353
新株予約権	448	448
非支配株主持分	14,863	14,828
純資産合計	93,759	93,651
負債純資産合計	167,171	168,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	41,519	42,848
売上原価	37,081	38,162
売上総利益	4,437	4,685
販売費及び一般管理費	3,349	3,407
営業利益	1,087	1,278
営業外収益		
受取利息	68	101
受取配当金	88	116
為替差益	—	433
その他	37	30
営業外収益合計	194	681
営業外費用		
支払利息	27	68
為替差損	1,643	—
子会社開業準備費用	—	141
その他	1	1
営業外費用合計	1,672	211
経常利益又は経常損失(△)	△390	1,748
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
減損損失	0	8
投資有価証券評価損	323	—
その他	0	2
特別損失合計	324	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△715	1,738
法人税等	38	367
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△753	1,370
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	205
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△863	1,164

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△753	1,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△365	408
為替換算調整勘定	△4,777	△1,008
退職給付に係る調整額	51	73
その他の包括利益合計	△5,091	△526
四半期包括利益	△5,844	843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,229	935
非支配株主に係る四半期包括利益	△614	△91

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	8,194	21,364	11,959	41,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,716	311	215	3,243
計	10,911	21,676	12,174	44,762
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	853	△551	726	1,028

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,028
セグメント間取引調整額	59
四半期連結損益計算書の営業利益	1,087

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	9,837	20,468	12,542	42,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,264	152	232	4,648
計	14,101	20,620	12,774	47,496
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,328	△710	660	1,279

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,279
セグメント間取引調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,278